

あさかの里だより 94 号

発行：社会福祉法人郡山社会事業協会 あさかの里 E-mail asakanosato@asksato.com

〒963-8862 福島県郡山市菜根 3 丁目 15 番 3 号 TEL 024-939-3401 FAX 024-939-3491



～CONTENTS～

- P.2 13 回目の春 P.3 果物狩り&日帰り温泉旅行 ぼんだいのつどい
P.4 あさかの里まつり/クリスマス忘年会
P.5 新年会/イラスト・詩集投稿コーナー
P.6 あさかの里メールアドレス変更のお知らせ / 寄付のお礼 / スタップリレーコラム

13回目の春

令和6年元日から能登半島地域で大きな地震が発生しました。3ヶ月が経とうとしています。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、未だに不自由な避難生活等を送られている方々にこころよりお見舞い申し上げます。

何度聞いても緊急地震速報には、心臓が止まりそうになるくらい緊張して心拍数が上がります。

東日本大震災から13年が経ちました。能登半島地震で、当時のことが想起されました。震災後、またその後の各地での大きな震災を経て、大規模地震などの緊急時の対応や日頃からの避難訓練を含めた防災体制などについて計画を策定することが求められるようになっていきます。その後も現状に即して改訂していくようになってきました。数年前からは、災害後でも通常同様に利用可能な状態で、事業所の活動(営業)が継続できるように業務継続計画の策定が義務化されています。当会でもそれらの計画やマニュアルなどに即して、避難訓練や緊急時の連絡体制の訓練などを行っています。利用者の皆さんにも災害時伝言ダイヤルの練習なども実施しています。しかしながら、実際に災害が起こったときに計画通り、訓練通りに避難や対応が可能なのか、不安なところが多いのも事実です。計画やマニュアルは机上の、紙の中でのものであると言ってしまうとそれまでなのですが、実際の災害は人知を超えたところで起こります。連絡をとりたくても電話が繋がらない。電気もつかない。水道もでない。ガソリンもない。道路が陥没したり隆起したりして通れない。地域全体が孤立してしまった等々、挙げればきりがありませんし、今回の能登の地震でも同様のことが起こっていました。それでも以前に比べれば、避難所における災害弱者と呼ばれる障がい者や高齢者などに対する医療・福祉の支援などは迅速に活動されるようになってきていると思われる。「所詮は机上の空論」とならないように、なお、様々な事態を想定して、可能な限り安全に安心して過ごせるような対応策を今後も考えていく必要があります。

震災から13年目の春を迎えます。当会でその当時、なんとか踏ん張った経験のある利用者も職員も少なくなってきました。当初の1ヶ月間、それぞれの事業所、グループホームがどんなだったか、どのように過ごしていたか。津波や原発事故に見舞われた地域の方とは比較になりませんが、足りないところも多々ありながら、それぞれができることを行い、支え合うことができたのではないかと思います。同時に多くの方に助けていただいたことも忘れず、あらためて感謝の念に堪えません。それらのことを今後も語り、つないでいきたいと思えます。

この震災では未だ3万人弱の方が避難して生活しています。福島県では、今年2月1日の発表では、約26300人の方がこれまで暮らしていた家を離れ、避難して暮らしています。うち、県外に非難されている方は2万人強と言うことです。原発事故の廃炉作業も遅々として進んでいないのが現状です。汚染水の海洋放出や除染後の土壌の貯蔵の問題、避難指示区域の解消に向けた施策についての課題など、まだまだ多くの難問が山積しています。原発事故の避難地域から遠く離れた場所において、現実がわからない者が簡単に言えることではありませんが、復興への道は未だ遠く険しいという気持ちです。

さて皆さんにご紹介したい動画があります。先頃、北陸新幹線が敦賀まで延伸され開通したとのニュースがありました。被災した能登地方の復興の一助になればと思いますが、13年前の同じ時期にも九州で新幹線が開通しました。博多と鹿児島の間です。開業を知らせる1本のCMがありました。しかしそのCMはTVで流れることはありませんでした。なぜなら開業したその日は2011年3月12日。きつと前日からTVで流れるはずだったのであろうCMですが、その日3月11日、東日本大震災がおこりました。震災関連のニュース一色ですべてが自粛、TVも沈痛な面持ちのものばかりとなりました。ですのでこのCMが多くの人の目に触れることはなくなりました。すでにご存じの方も多くいることと思います。私がそのCMの存在を知ったのは、震災からずいぶんと月日がたってからでした。まだ見たことのない方にはネタバレしてしまうので多くは語りません。皆さん一度ご覧になってください。新幹線の車内からカメラをまわして沿線の様子を映し出した映像になっています。

初めてその動画を見たときには、あつくこみ上げてくるものがありました。震災当時のTV映像やラジオのニュース、避難所での被災された方たちのこと、タンクローリーがスタンドに来たときの光景、県外から給水車が到着したときの病院のスタッフの皆さんの歓声等々、その当時のメンバー、スタッフ、自分自身の姿が重なって、同じ時にたくさんの方が応援してくれていたんだ、というような気持ちになってところが震えました。見ていると、あたたか〜い気持ちになります。人のつながりっていいなあと考えてきます。くらいニュースもたくさんありますが、ドラマ的に言えば、この国はまだまだやれる、とか、すてたもんじゃない、とか、そんな気分でしょうか。主観甚だしいですが、とにかく一度検索してご覧いただきたいです。視ると私は元氣になります。(朝生)

九州新幹線鹿児島ルート開業CM動画

検索





ぶどう狩り&バイク日帰り温泉旅行



令和 5年 9月 26日(火)

果物狩(フルーツランドよよせん)
ぶどう
大江戸温泉物語
あいづ
バイク 60分楽しみました!



会津名物 こづゆ、
味ごはん、カレー、
サラダ、デザートなど
おなかいっぱい
食べました!
温泉も気持ちよかったです!



◎ ぼんだいのつどい ◎

令和 5年 9月 29日(金)

開催地: 国立磐梯青少年交流の家

出演: ナマラエンターテインメント
NAMARA 芸人

「森下英矢の子育てドキュメンタリー
笑って泣いてやさしくなれる講演会
発達障がい思やたちゃんと森下家のんびと」



天気に恵まれ風が気持ち良い日でした!



フラワーアレンジメント

あさかの里まつり大感謝際 2023

令和5年10月28日(土)

4年ぶりに開催!! スタッフ・メンバー皆で楽しみました♪



協賛品もたくさん

頂きました!!

ありがとうございます!



あさかの里屋台 



クリスマス忘年会

令和5年12月15日(金)



4年ぶりみんなでお話ししながら
飲食をたのしみました 
今年のスペシャルゲストは…
アノケン??が登場!!



- ・O×クイズ ・ビンゴゲーム
- ・じゃんけん大会
- ・お寿司 ・ケーキ
- ・チキン ・ドリンク



あさかの里の全体行事は、メンバー、スタッフともに感染防止対策を充分に行い、

協力しながら実施しています。





あさかの里新年会&もちつき大会



令和6年1月5日(金) 暁紫舎



理事長から
新年のあいさつをいただき...
そのあとには
おいしいおもちを
たくさん食べました!



- メニュー
- ・あんこもち
 - ・雑煮
 - ・お漬物
 - ・たくあん
 - ・みかん

イラスト・詩集投稿コーナー



『嬉しくて』 

嬉しくて 嬉しくて
心の種子が 芽を吹いた

嬉しくて 嬉しくて
心の風が そよそよ吹いた

春の芽吹きは すぐそこに
あなたの心に届くまで

嬉しくて 嬉しくて
香る春風 吹けよ 吹け

(くまさん より)

『そして笑顔へ』 

悲しい気持ちで 涙がぽろり
ぽろりぽろり ぽろりぽろり 流れ落ち

悲しいことは ^お悪じゃあないよ
君が優しくなるための 確かな心づきの道しるべ

ひとつ ふたつ 悲しみを
みつ よう 灯りに行くと

そして歩いた人の代名、
そらね にっこり

誰かの涙を 優しく拭いたがらるんた

作品募集中!!お近くのスタッフまで!!

お知らせ

あさかの里のメールアドレスが変わりました！

asakanosato@asksato.com

～～寄付・協賛の御礼～～

サントリービバレッジソリューション(株)

郡山ヤクルト販売(株)

紅食(株)

酪王共同乳業(株)五百瀬販売所

笹島菓子食品(株)

敬称略

ご協賛・ご提供ありがとうございました。

スタッフ リレーコラム

～思いがけない人に偶然出会う

なんて経験生きているうちに何回あるだろうか。～

ひまわり寮に令和5年4月配属。みんな自立していて私の出番ナシ！！

夕方たわいのない話で笑ったり、テレビを観て盛り上がったり。

そんな中に“先生”と呼ぶ人と文通をしている人がいました。

その人は詩人で目に見える全ての物、心に思う全ての言葉を詩にしまい、

池のカモをこよなく愛し、病院の待合室で昭和の歌謡曲を唄い、

人を観察評価するのが好きな私と同じ年の女性でした。

ある日“先生”が遊びに来るからと誘われ3人で会いました。

とても明るく多趣味でステキな女性でした。話が進むにつれ

「え！」「ええ～！」「うそお！」「ホントにい～！」「すご過ぎ～！！！」

何と私と詩人は中学の同級生で先生はその時の先生で

3人は中学3年間同じ空間で同じ時間を共有していたのです。

その後いろいろな経験、体験、思いをへて

50年後思いがけない3人が偶然出会う奇跡。

生きてるだけで丸もうけ

みんなの手をかりてゆっくり歩いて行けば

あなたも偶然の奇跡に会えるかも……

後藤 悦子

～次回は佐藤てるみさんです。～



編集後記

今年度最後のあさかの里だよりとなりました。今回は4年ぶりにあさかの里まつりが開催されたこともあり、多くのイベントを載せることができました。

来年度も引き続き広報委員会の同じメンバーで、あさかの里だよりをお届けします。

次回もお楽しみに！

令和5年度 あさかの里だより広報委員 山田美紀子・新田美和・石黒貴之・山内誠也